

かわり

vol. 59
November 2018



撮影者/佐竹 絵莉

理念

私たちは地域の皆様の幸福(しあわせ)に貢献できる社会福祉法人を目指します。

品質方針

顧客満足から顧客感動へ「やさしさ」「真心」「思いやり」で満ち溢れた心のかおりのするサービスを目指します。

今回の内容

- 介護の疑問解決ポスト設置しました!..... 02
- 徘徊者捜索声掛け模擬訓練に参加しています。..... 03
- ミニ福祉情報 働きやすい職場が、ご利用者様へのサービスの質向上につながる! 「やまぐち働きやすい介護職場宣言」..... 04
- 各拠点からのお知らせ
- さこ拠点 (彦島迫町)..... 04
- たのくび拠点 (彦島田の首町)・しおはま拠点 (彦島塩浜町)..... 05
- ゆめタウン拠点 (長府ゆめタウン)・しおかぜ拠点 (彦島迫町)..... 06
- 松美会の人財 私たちが働いています!..... 07
- ユニバーサルデザインフードをご存知ですか..... 08

かわり “やさしさ” “真心” “思いやり” で満ち溢れた心のかおりのするサービス “やまぐち” をめざして

vol.59 November 2018

社会福祉法人 松美会 広報誌

発行日:2018年11月15日発行

栄養管理・食事サービス部 「ユニバーサルデザインフードをご存知ですか」

管理栄養士 清崎 文華

高齢・病気などで、食べものを噛む力(咀嚼)や飲み込む機能(嚥下)が弱くなった方の為に、食べやすさや栄養面に配慮された加工食品です。食品メーカーが中心となって設立した「日本介護食協議会」が規格を定め、食品の「かたさ」や「粘度」に応じて「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」の4段階に区分、表示されています。

ユニバーサルデザインフードのパッケージには、必ずマークが記載されています。

スーパーやドラッグストアなどで、区分を目安にどなたでも安心して選んで購入可能なため、在宅での介護食として、また抜歯時や口内炎発症時等、あるいは非常食用ストックとしても有効に活用できます。

●アイユウの苑(さこ)の食形態区分 例

区分	区分①容易にかめる	区分②容易にかめる大きさに配慮(一口大にかた)	区分③歯ぐきでつぶせる	区分④舌でつぶせる	区分⑤かまなくてよい
かむ力の目安	かたい物や大きい物はやや食べづらい	かたい物や大きい物はやや食べづらいが、一口大の大きさであれば食べられる	かたい物や大きい物は食べづらい	細かくてやわらかければ食べられる	固形物は小さくても食べづらい
飲み込む力の目安	普通に飲み込める	普通に飲み込める	物によっては飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらい
副食形態	普通食	一口刻み食	刻み食	やわらか食	ペースト食



社会福祉法人 松美会

URL: <http://www.shoubikai.or.jp>
E-mail: fukushi@shoubikai.or.jp

- ◎アイユウの苑 迫(さこ)**
 〒750-0092 下関市彦島迫町三丁目17番2号
 ■特別養護老人ホーム アイユウの苑(ショートステイ) Tel. 083-266-8287
 ■アイユウの苑 デイサービスセンター Tel. 083-266-6364
 ■アイユウの苑 サテライトデイサービスセンター六連島 Tel. 083-266-6364
 ■アイユウの苑 ホームヘルプサービス Tel. 083-261-1372
 ■アイユウの苑 訪問入浴サービス Tel. 083-266-6364
 ■アイユウの苑 訪問看護サービス Tel. 083-261-4337
 ■アイユウの苑 ケアマネジメントセンター Tel. 083-266-6501
- ◎アイユウの苑 田の首(たのくび)**
 〒750-0085 下関市彦島田の首町一丁目1番32号
 ■アイユウの苑 グループホーム Tel. 083-266-5361
 ■アイユウの苑 デイサービスセンターしおはま Tel. 083-266-5362
- ◎アイユウの苑 塩浜(しおはま)**
 〒750-0086 下関市彦島塩浜町三丁目14番47号
 ■地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑しおはま Tel. 083-267-8800
 ■小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑しおはま Tel. 083-267-2525
 □住宅型有料老人ホーム アイユウの苑しおはま Tel. 083-267-2525
- ◎アイユウの苑 ゆめタウン**
 〒752-0926 下関市長府ゆめタウン2番24号
 ■地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑ゆめタウン Tel. 083-249-2200
 ■アイユウの苑ゆめタウン ショートステイ Tel. 083-249-2200
- ◎しおかぜの里**
 〒750-0092 下関市彦島迫町六丁目7番22号
 □しおかぜの里こども園 Tel. 083-267-1917



社会福祉法人 松美会 アイユウの苑は「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステムISO9001の認証(審査登録)取得を実現しました。その後も、システムの維持・継続的改善をしながら認証取得事業所の拡大を推進しています。

彦島地域のセーフティーネットの構築に向けて

徘徊者捜索声掛け模擬訓練 に参加しています。

ここ数年、彦島地区内において、各自治会と彦島地域包括支援センターが中心となって、徘徊者捜索声掛け模擬訓練が実施されています。

徘徊者捜索声掛け模擬訓練は、認知症の人が行方不明になったことを想定して、地域のネットワークを活用して「通報～連絡～捜索～発見・保護」の情報伝達の流れと認知症を正しく理解し、本人の気持ちに配慮した声掛けや見守りなどを訓練することを目的としています。

私達は、“彦島”において実施される訓練のお手伝い役としてこれまで毎回訓練に参加させて頂きました。彦島の地域が誰もが住みやすい街となり、地域の助け合いネットワーク構築のお手伝いが少しでもできればと考えております。

平成27年度(彦島塩浜町1～3丁目)

【開催日】平成27年7月11日 【参加者団体】44名(内 松美会12名)

- 塩浜町自治会および地域住民の皆さん
- 彦島地域包括支援センター
- 下関市
- 高齢社会をよくする下関女性の会
- 社会福祉法人 松美会(アイユウの苑)



平成28年度(彦島向井町2丁目)

【開催日】平成28年6月11日 【参加者団体】57名(内 松美会8名)

- 向井町自治会および地域住民の皆さん
- 彦島地域包括支援センター
- 下関市 ●下関警察署
- 認知症家族の会キャッチボールの会
- デイサービスほがらか
- 社会福祉法人 松美会(アイユウの苑)



平成29年度(彦島迫町)

【開催日】平成29年11月26日 【参加者団体】69名(内 松美会10名)

- 迫町を中心とした地域住民の皆さん(民生委員含む)
- 彦島地域支援包括支援センター
- 下関市
- 下関警察署
- 認知症家族の会キャッチボールの会
- 社会福祉法人 松美会(アイユウの苑)



平成30年度(彦島田の首町)

【開催日】平成30年10月22日 【参加者団体】45名(内 松美会10名)

- 田の首町を中心とした地域住民の皆さん
- 彦島地域支援包括支援センター
- 下関市 ●下関警察署
- 認知症を地域で支えるまちづくり下関ネットワーク
- 株式会社 RR
- 社会福祉法人 松美会(アイユウの苑)



※彦島地区で唯一の地域包括支援センターである「彦島地域包括支援センター」の運営事業を、社会福祉法人松美会が下関市から受託し運営しております。他にも下関市直営のセンターや下関市が運営を委託している地域包括支援センターが下関市内には併せて12カ所あります。(詳細は<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1427577213361/index.html>)

介護の 地域の 皆様へ 疑問解決ポスト 設置しました!

ご自宅での介護に困り事があったり、介護について様々な疑問があっても、なかなか相談しづらいものだと思います。そこで、質問内容を投函するだけで、疑問にお答えする“介護の疑問解決ポスト”をこの度、**アイユウの苑「しおはま拠点」と「たのくび拠点」**に設置致しました。

【投函の方法】

- 質問の投函用紙に指定のものはございません。好きな用紙に、①質問内容②回答の希望方法をご記入下さい。
- ▶「②回答の希望方法」とは、例えば「施設前の掲示板による回答」や「メールでの回答」、「お電話による回答」、「ご自宅に訪問しての回答」、「施設に来苑して頂いての回答」などご希望の方法をお書き下さい。
 - ▶無記名でも構いませんが、差し支えなければお名前とご連絡先をご記入下さい。

【回答の方法】

- 投函されたご質問を確認し、**専門職がご希望の方法にてお答えいたします。**ただし、内容によっては回答できかねる場合もございますので、あらかじめご了承下さい。
- ▶個人情報が含まれる場合などは十分に配慮し対応させていただきます。



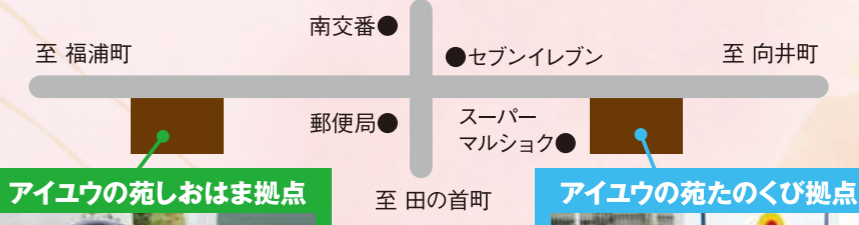
以下の専門職が回答いたします

介護	介護福祉士	身体上・精神上の障害があるために日常生活を送るのに支障がある方に対して、入浴、排泄、食事などを含む介護や、介護に関する指導を行なう専門職です。
医療	看護師	傷病者などの看護や診療の補助を行なう専門職です。
栄養管理	管理栄養士	身体の状況や栄養状態などに応じた高い専門的知識や技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導などを行なう専門職です。
リハビリ	理学療法士	身体に障害のある人のリハビリテーションを受け持ち、理学療法を行う専門職です。
ふくし相談	社会福祉士	高齢者・障害者・児童などすべての領域を対象とした相談援助の専門職です。
精神保険	精神保健福祉士	上記(社会福祉士)の内、精神障害者の保健福祉に特化した専門職です。
介護相談	ケアマネジャー	介護保険制度においてケアマネジメントを行なう専門職です。
認知症	認知症ケア専門士	認知症ケアに対する優れた学識と高度な技能、および倫理観を備えた専門職です。

【ご質問の例】

- 色々な老人ホームがあるが、違いもよくわからず、どこに相談をしていいかわからない。
- 車椅子や介護ベッドを借りたいが、どこに相談していいかわからない。
- 保険がきく介護サービスって何があるのか教えて欲しい。
- 入所してどのくらい待つのか教えて欲しい。
- 最近では薬局でも介護食を売っているけども、自宅でも簡単に作れる介護食で良いものがあれば教えて欲しい。

ポスト
設置場所



黄色いポスト
が目印です!



サービスの質向上へ 日々取り組む

介護サービスはご利用者様がご高齢であるとともに直接身体へ接するサービスであるため、事故が発生する危険性が高く、また、サービスについての不満等も潜在化しやすい傾向があるとされています。

サービスを提供する職員の知識や技術を高めること、さらには取り組む姿勢により事故や不満などが減り、総じてサービスの質向上へ繋がるのではないかと考えています。

当センターでは、限られた時間の中でもご利用者様と関わる時間を減らすことなく、サービスの質向上への取り組みを行うことを目的として継続的な業務改善を行っています。その結果の一つとして、業務時間内での研修会を毎日開催することができています。

身体介護などの技術、認知症ケアや接遇、倫理などの知識、健やかに生き生きと過ごすためのメンタルヘルスケアなど幅広い分野における講義を受講し、職員間での意見交換を行っています。

各拠点からのお知らせ

しおはま

拠点
(彦島塩浜町)

地域密着型「介護老人福祉施設アイユウ苑」しおはまでは『車いすの方でも簡単にできる体操』というテーマのもとに体操を考案いたしました。体操をするきっかけとなった出来事がありました。それはご利用者様から「ここで体操なんかあるといいけどな。」という一言がきっかけでした。

体操は午前中に15～20分程度の体操を実施しています。ご利用者様ができる能力を保つことを意識して、車いすに座ったまま行える体操を実施しております。最初は4～5人程度の参加者でしたが、今では8～12名くらい体操に参加しております。体操を始めた当初は、体操をお誘いしてもなかなか参加していただけない状況

各拠点からのお知らせ

たのくび

拠点
(彦島田の首町)

すぐに結果が出るものではなく、また、研修会の時間を確保し続けることは容易なことではありません。しかし、日々の積み重ねは年35時間を超え、職員のスキルアップによるサービスの質向上への一端を担っていると考えます。

これからもご利用者様に寄り添った個別ケアを実践し、ご利用者様・ご家族様から信頼され続けられるよう、職員一同、日々努めて参ります。

デイサービスセンターしおはま
管理者 岡田 添生



でしたが、体操を続けていくうちに自ら1階のフロアまで足を運んでいただける方、私の顔を見ると「今日は体操あるのか?」と毎朝声を掛けていただけるご利用者様まで、とても体操を楽しみにしていただいております。体操の内容も同じものは行わず、少しずつ内容を変えたり、ボールを使った体操など飽きが来ない体操を行っております。体操が終わるとスタンプラリーがあり、40個スタンプを集めると手作りではありますが、景品を差し上げており、楽しみの一つにしております。

理学療法士として今後も皆様に参加したいと思える体操を目指し、実施していきたいと思っております。

地域密着型介護老人福祉施設しおはま
機能訓練指導員 和田 祐介

各拠点からのお知らせ

さこ

拠点
(彦島迫町)

いつまでも自分の足で 歩くために

当センターでは、平成30年度事業計画に歩行に関する機能訓練プログラムの強化を目標としています。高齢者の歩行の特徴としては、歩行スピードが遅くなる、歩幅が小さくなる、つま先が上がらない、縦揺れ少なく横揺れが大きくなる、などがあげられます。また、要因としては、筋力低下、円背、股関節や膝関節の屈曲、視野狭窄などの視覚機能低下、バランス力の低下などがあげられます。そこで、当センターで、できることはないかと考えて新たなプログラムを作りました。

- 1、ジグザグ歩行練習
カラーコーンを等間隔に並べ体幹のバランス(切り替えし)を強化します。
- 2、大股歩行練習
広めの目印を踏むことにより歩幅を意識します。
- 3、一本橋歩行練習
平行棒内でバランスマットの上を歩行します。平行棒内なので安心して実施ができます。
- 4、ステップ運動(ディアルタスク運動)
床に番号を貼り決められた順番にステップを踏みます。飽きないように定期的に番号を変更しています。
- 5、リハビリボール
歩行に必要な下肢筋力と腕を振るための上肢筋力を主として考えた統一した体操を実施しています。
当センターを利用して、歩くことに自信が持てるようになったと思われるようにしっかりと援助していきたいと思っております。

アイユウの苑 デイサービスセンター
管理者 岡本 幸一



福祉情報

働きやすい職場が、 ご利用者様へのサービスの質向上につながる! 「やまぐち働きやすい介護職場宣言」 の認証を取得

山口県が本年度から開始した「やまぐち働きやすい介護職場宣言」において、特別養護老人ホーム「アイユウの苑」が認証を受けました。

「やまぐち働きやすい介護職場宣言」とは、介護サービス事業所が、就業環境の改善を通じて、「スタッフ一人ひとりが、やりがいを持って、働き続けられる職場づくりに向け、主体的に人材の確保・育成に取り組むこと」を宣言し、これからの進路を考える若者や、介護への就職を志す求職者の方等に情報を発信する制度です。



現在、さこ拠点の特別養護老人ホームアイユウの苑だけの認証取得ですが、デイサービスセンターやグループホーム、地域密着型介護老人福祉施設(2か所)、ホームヘルプサービスなども同様に宣言手続き中です。

他県でも同様の動きがあり、山口県では始まったばかりの取り組みです。その先駆け事業所として、宣言し続けられるよう職場環境の改善を続けてまいりたいと思っております。

■特別養護老人ホームアイユウの苑紹介ページ
<http://www.kaigo.pref.yamaguchi.lg.jp/sengen/pub/14>



デイサービスセンター
介護職員 大田美佐枝
平成15年度入職 介護福祉士

「この仕事をしていて良かった」と思う瞬間があります。「ありがとう」「あんたが居ると寂しかった」「あなたの声を聞き、顔を見たら元気が出た」とご利用者の言葉に励まされた時や、ご利用者様のできることを見出した時です。

日々の業務の中でのご利用者様との何気ない会話の中から、ご利用者様から学ぶことが多々あり、ありがたく思います。時には上手くいかないこともあります。ご利用者様の笑顔や言葉に癒され、先輩や同僚の意見、アドバイスに反省し「次はがんばろう」という気持ちを奮い立たせています。

アイユウの苑に勤務して15年になろうとしています。仕事について先輩方から教えられるよりも、教えることや、アドバイスをする立場になってきました。今まで教えていただいた



知識、培った技術を後に続く頼もしい後輩に伝えて行きたいと思っています。そして、私自身、今以上に知識、技術の向上に努め、笑顔と活気のあるデイサービスでご利用者様をお迎えしたいと思っています。

松|美|会|の|人|財
私たちが働いています!

今回のテーマは...

自分が成長したきっかけや、成長したと実感する時



しおかぜの里こども園
保育教諭 穴田奈緒美
平成28年度入職 保育士/幼稚園教諭二種免許状

私は、しおかぜの里こども園で働き始めて3年目になります。小さい頃から子どもが好きで、ずっと保育士になりたいと思っていました。いざ、保育者として働いてみると楽しいことばかりではなく、大変なこともたくさんありました。働き始めたばかりの頃は慣れないことも多くあり、毎日クタクタでした。でも次の日仕事に行くと「穴田先生、おはよう」と子ども達が笑顔でかけよってきてくれ、その笑顔を見て「今日も1日頑張ろう」と、パワーをもらっています。

今では運動会の練習を子ども達と一緒に頑張っています。初めは上手くいかないこともあったのですが、練習を積み重ねることに上手になっていく子ども達の姿を見て、日々嬉しく感じています。そして本番で頑張っている姿を見ると「この仕事をしていてよかった」と強く感じます。

子ども達の笑顔や、頑張っている姿は私に元気や勇気をくれます。その笑顔をとくさん見られるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。そして、子ども達と共に成長していきたいと思っています。



特別養護老人ホーム
看護職員 甲斐利恵
平成26年度入職 准看護師

特養で働きた当初は、前職場である内科病棟での職務内容とのギャップから不安になることも多く、仕事を続けていけるかどうか迷っていた時期がありました。しかし、先輩の「ここは、生活の場だから家庭と同じように捉え対応することが求められているのよ」との発言を聞き、少し考え方を考え方が楽になったのを覚えています。そのおかげもあってか、特養での勤務を今まで続けていくことができました。

また、過去には産婦人科で勤務していたこともあります。生命誕生の喜びを感じることができる職場です。まだ、言葉も話せない赤ちゃんが一生懸命何かを伝えようとしていることに皆が耳を傾けます。ここでも認知症などの様々な病気でコミュニケーションが難しくな

ってきている方もおられますが、声を出してくれたり、笑顔を見せてくれたり…。ご利用者様が一生懸命発せられる想いを、しっかりと受け止め関われる看護職員として、これからも頑張っていきたいと思っています。



各拠点からのお知らせ

ゆめタウン

拠点 (長府ゆめタウン)

ショートステイの過ごし方

当ショートステイは、ご利用者様10名ずつの2ユニットになります。ご利用者様のニーズはご本人様とご家族様それぞれの思いがあり、お風呂に入れて欲しい、気分転換を図りたい、冠婚葬祭で家を空けるなどニーズは様々です。その為、ショートステイでは1日の過ごし方がとても大切であり、顔見知りのご利用者様同士ゆっくり談笑する時間や余暇を通じて頭を働かせること、そして身体を動かし機能を維持することもショートステイでは求められます。

当ショートステイでは、職員一人ひとりが知恵を出し合いながら、過ごし方について考えています。今年度は利用者様の日中の過ごし方について取り組むチームを立ち上げています。決まった日課としては、ゴボウ先生の体操を行っています。利用者様からも「そろそろゴボウ体操の時間かね?」と声を掛けてくれる様子もあります。また利用者様の様子を見ながら、塗り絵、カルタ、

ガーデニング、カラオケなど日替わりで行っています。私たちのショートステイで過ごして帰られる時に「また来るね」と声を掛けてもらえる、そんなショートステイの過ごし方をこれからも考えていきたいと思っています。

アイユウの苑ゆめタウンショートステイ
主任ケアワーカー 岩地三郎



各拠点からのお知らせ

しおかぜ

拠点 (彦島迫町)

子ども達の大好きな“水遊び”と“海遊び”

夏と言えば子ども達が楽しみにしている“水遊び”がこども園では行われます。子ども達には夏の遊びを楽しんでもらいたい、しかし、熱中症は重い症状になることもあり危険です。職員間での話し合いを行い、遊びの間のごまめな水分補給はもちろんのこと、日よけを設置したり、遊ぶ時間を考慮したりと対策を考えていきました。0~2歳児はテラスのビニールプールで、3~5歳児は屋上のプールで水遊びを行います。今年も年齢ごとの水遊びを思い思いに楽しむことができました。

3歳以上児は、園の目の前にある“ひこつとらんどマリナービーチ”で海遊びも行います。年長児は遊びに行く前に、これから遊ばせてもらう海に感謝の気持ちを込めて、砂浜のゴミ拾いをするなど掃除を行いました。海遊

びから帰ってきた子ども達は「楽しかった!」と満面の笑顔を見せてくれます。

暑かった夏も終わり、秋の運動会、冬の発表会と大きな行事が続いていきます。楽しいことが大好きな子ども達と共に、行事に向かって楽しんで取り組んでいきたいと思っています。

しおかぜの里こども園
保育教諭 安田和香奈

